

表3-1 モデル図化された機能要素一覧

FM006、FM007	施設機器予約情報チェック	F	400015	ユーザが1患者の予約情報を編集するとき	《拡張》<F600035>予約情報編集 《拡張条件》施設、機器予約がある場合
FM007	予約必要な項目チェック	F	400014	ユーザが1患者の予約情報を編集するとき	
FM008	複数患者指定受付	F	200062	複数患者指定時	
FM008、FM009	患者リスト内同姓同名患者の存在表示	F	100101	/患者リストに同姓同名の患者が存在するとき	《拡張点》<F100218>指定された複数患者のリスト表示 《拡張条件》患者リストに同姓同名の患者が存在する場合
FM008、FM009	1患者指定時同姓同名患者の存在表示	F	100105	/1患者に対し同姓同名患者が存在するとき	《拡張点》<F100003>患者情報表示 《拡張条件》指定された1患者と同姓同名の患者が存在する場合
FM009	同姓同名患者の存在表示	F	100100		
FM009	同フロア入院患者リスト表示時同姓同名患者の存在表示	F	100102	特定フロアの入院患者リスト閲覧時	《拡張点》<F100218>指定された複数患者のリスト表示 《拡張条件》特定フロア入院患者リストに同姓同名の患者が存在する場合
FM009	病棟マップ表示時同姓同名患者の存在表示	F	100103	病棟マップ閲覧時	《拡張点》<F100218>指定された複数患者のリスト表示 《拡張条件》病棟マップに同姓同名の患者が存在する場合
FM009	外来診察待ちリスト表示時同姓同名患者の存在表示	F	100104	外来診察待ちリスト閲覧時	《拡張点》<F100218>指定された複数患者のリスト表示 《拡張条件》外来診察待ち患者リストに同姓同名の患者が存在する場合

表3-2~3-9の見方

各欄に記述する内容

動作主格	“システムが”と記述する。 (※本研究ではシステムの機能を記述するため、動作主格を“システムが”に限定した。)機能を開始するユーザのシステムに対するアクションを記述する。 例:ログイン時、診療記録編集終了時
起動条件	機能が起動される際に必要となる情報の条件を記述する。 システムの状態
機能間関係	機能が他の機能と必要、拡張関係である場合は、必要とされる機能、拡張の基底となる機能の管理番号とラベルを記述する。拡張関係にあるときは、拡張条件も記入する。
使用場所(現在未使用)	機能が使用される物理的场所を記述する。 例:大規模医療機関で、研究医を有する医療機関で、外来診察室で
対象人物、システム	機能が操作の対象とする人物・システムを記述する。 例:“管理者に出力する”、“システムに出力する”、“指導医に出力する”、“他システムから収集する”
操作対象	対象1 (情報・機能) 動詞の直接目的語を記述する。目的語は情報、機能に限定する。 例:○○情報を、機能を
	対象2 (情報) 動詞の間接目的語を記述する。間接目的語が情報である場合に限定して使用する。 例:○○情報に、○○情報と
目的	診療上での目的 診療上での目的で機能が使用されるのかを記述する。 例:“患者取り違いを防ぐために”、等
	診療以外の目的 診療上の目的以外にどのような目的で機能が使用されるのかを記述する。
方式	物理媒体以外の方式 機能を実現するための手段を記述する。
	物理媒体 方式の中で、物理媒体を特定するものを記述する。 例:“画面に”、“磁気媒体に”等

●用語定義:

記録 : 診療録、サマリ、同意書、紹介状、処方箋、死亡記録といった電子カルテシステム上で取り扱うことができる個々の診療上の記録を指す。(レセプト、経過記録、温度板、病理診断レポート、放射線診断レポート等を含むこともある。)

表3-1-2 出力機能

階層コード	機能コード	動作主	ユーザアクション	情報の条件	システムの状況	機能関係	使用場所	対象人物・システム	操作対象1	操作対象2	診療上の目的	目的	方式(物理媒体)	動作	コメント
a.	出力(表示)する機能														
a.1.	情報出力	システムは							情報を					出力する	システム内に蓄積されたすべての情報
a.1.1.	情報表示	システムは							情報を				画面に	出力する	
a.1.1.1.	患者情報表示	システムは	1患者指定時						指定された患者の患者情報を		患者に関する情報を把握するために		画面に	出力する	情報発生時点形式とは、情報作成時点の情報を変換して送信した場合、受けた場合は、受けた時点の形式
a.1.1.1.1.	患者基本情報表示	システムは	1患者指定時						患者基本情報を		患者に関する情報を把握するために		画面に	出力する	
a.1.1.1.1.0.	記録表示	システムは	記録指定時						指定された記録を		患者の状態、診療内容を把握するために		画面に	出力する	
a.1.1.1.1.0.1.	最新版の記録表示	システムは							最新版の記録を				画面に	出力する	
a.1.1.1.1.0.2.	最新版以外の記録表示	システムは		最新版以外の記録が存在するとき					最新版以外の記録を		過去の思考過程、判断を把握するために		画面に	出力する	F900003条件付禁止項目
a.1.1.1.1.0.3.	1患者の1記録表示	システムは	1患者1記録指定時						指定された1患者の1記録を		患者の状態、診療内容を把握するために		画面に	出力する	
a.1.1.1.1.0.4.	1患者の複数記録表示	システムは	1患者複数記録指定時						指定された1患者の複数記録を		患者情報を記録するために		画面に	出力する	
a.1.1.1.1.0.5.	複数の患者の複数の記録の同一画面上表示	システムは	複数患者複数記録指定時						指定された複数の患者の記録を		患者情報を記録するために	ユーザが他の記録を見ながら確認するために	同一の画面に	出力する	取扱いの防止機能禁止 F900001と背反
a.1.1.1.1.1.	レセプト情報表示	システムは	1患者指定時						レセプト情報を		患者の診療費を把握するために		画面に	出力する	
a.1.1.1.1.2.	診療録表示	システムは							診療録を		患者の状態、診療内容を把握するために		画面上に	出力する	
a.1.1.1.2.	診療科表示	システムは	1患者指定時						診療科を				画面に	出力する	
a.1.1.1.3.	入院場所情報表示	システムは		患者が入院患者の場合					入院場所情報を		患者の所在を把握するために		画面に	出力する	入院施設ありの場合、入院場所情報とは入院病棟、病室、診療科の情報
a.1.1.1.3.1.	入院病棟表示	システムは							入院病棟を		患者の所在を把握するために		画面に	出力する	入院施設ありの場合
a.1.1.1.3.2.	入院病室表示	システムは							入院病室を		患者の所在を把握するために		画面に	出力する	入院施設ありの場合
a.1.1.1.4.	入院・外来区分表示	システムは							入院・外来区分を				画面に	出力する	

表3-2 出力機能

出力機能	システム内に表示されたすべての情報	出力する	システム内に蓄積されたすべての情報	出力する
a. 1.1.2.4.2.	引用された検査結果情報表示	画面に引用箇所強調表示で	引用された検査結果を	画面に引用箇所強調表示で
a. 1.1.2.4.3.	引用されたレポート情報表示	画面に引用箇所強調表示で	引用されたレポート情報を	画面に引用箇所強調表示で
a. 1.1.2.5.	強調表示	画面に強調して	情報を	画面に強調して
a. 1.1.2.5.1.	編集箇所強調表示	画面に編集箇所強調表示で	編集された情報を	画面に編集箇所強調表示で
a. 1.1.2.5.1.1.	追加部分色変更表示	画面に色分けして	追加された情報を	画面に色分けして
a. 1.1.2.5.1.2.	削除修正箇所二重線表示	画面に削除修正箇所二重線表示で	削除・修正された情報を	画面に削除修正箇所二重線表示で
a. 1.1.2.5.2.	色分け表示	画面に色分けして	画面や文字情報を	画面に色分けして
a. 1.1.2.5.3.	マーク付表示	画面にマーク付けて	情報を	画面にマーク付けて
a. 1.1.2.6.	編集時に使用したテンプレートによる情報表示	画面に編集時の形式で	情報を	画面に編集時の形式で
a. 1.1.2.7.	グラフ表示	画面にグラフ化して	検査結果を	画面にグラフ化して
a. 1.1.3.	履歴情報表示	画面に	履歴情報を	画面に

表3-2 出力機能

a. 1	情報出力	F 100001	システムは						管理者に	システムの情報					出力する	システム内に蓄積されたすべての情報
a. 1.1.3.1.	管理者用システムの操作履歴情報表示	F 100051	システムは	管理者によるシステムの操作履歴確認時					管理者	システムの操作履歴情報(操作日時、操作内容、操作場所)			システムの不正利用を防ぐために	画面に	出力する	
a. 1.1.3.2.	記録の操作履歴表示	F 100053	システムは	1患者1記録指定時						《必要》<F200063>1患者1記録指定受付	患者のプライバシーシールドのために		システムの不正利用を防ぐために	画面に	出力する	
a. 1.1.3.2.1.	患者基本情報集履歴情報表示	F 100048	システムは	患者基本情報表示時						《必要》<F100030>患者基本情報表示	患者のプライバシーシールドのために		システムの不正利用を防ぐために	画面に	出力する	編集された情報の時点の情報かを判断できる
a. 1.1.3.2.2.	記録アクセスユーザのリスト表示	F 100052	システムは	1患者1記録指定時						《必要》<F200063>1患者1記録指定受付	指定された記録にアクセスしたユーザリストを		システムの不正利用を防ぐために	画面に	出力する	
a. 1.1.3.3.	前回利用日時・使用端末表示	F 100054	システムは	ログイン時							前回利用日時および使用した端末情報を		システムの不正利用を防ぐために	画面に	出力する	
a. 1.1.4.	クロス予約結果表示	F 100204	システムは		予約した内容がクロス予約対象とき				担当医に	予約の結果情報を				画面に	出力する	クロス予約とは、各部門で予約を管理している場合、部門に予約依頼し、部門から予約結果が返送される
a. 1.1.5.	操作確認メッセージ表示	F 100107	システムは								操作を促すメッセージを			画面に	出力する	操作確認メッセージとは、ユーザの操作を促すメッセージを指す。
a. 1.1.5.1.	確定操作確認メッセージ表示	F 100108	システムは								診療録の確定状態(確定、破棄)の決定を促すメッセージ		診療録を確定させるために	画面に	出力する	
a. 1.1.5.1.1.	他診療録アクセス時確定操作確認メッセージ表示	F 100109	システムは	編集患者と異なる患者の診療録画面指定された場合						《拡張点》<F100216>記録表示 《拡張条件》編集患者と異なる患者の診療録が指定された場合	診療録を確定させるために		診療録を確定させるために	画面に	出力する	
a. 1.1.5.1.2.	編集終了時確定操作確認メッセージ表示	F 100110	システムは	診療録の編集終了時						《拡張点》<F100216>記録表示 《拡張条件》診療録の編集終了時	診療録を確定させるために		診療録を確定させるために	画面に	出力する	ユーザが記録に対して必ず、確定or破棄する機能が必要
a. 1.1.5.1.3.	ログイン時確定操作確認メッセージ表示	F 100111	システムは		未確定の診療録をユーザが保持しているとき					《拡張点》<F6000109>ログイン 《拡張条件》未確定の診療録をユーザが保持しているとき	診療録を確定させるために		診療録を確定させるために	画面に	出力する	

表3-2 出力機能

項目	情報出力	システムは	患者リストに 同姓同名の 患者が存在 するとき	情報	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.2.8.1.	患者リスト 内同姓同 名患者の 存在表示	システムは	患者リストに 同姓同名の 患者が存在 するとき	同姓同名患者 の存在を	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.2.8.1.1.	同フロア入 院患者リス ト表示時同 姓同名患者 の存在表示	システムは	特定フロア 入院患者 リスト閲覧時	同姓同名患者 の存在を	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.2.8.1.2.	病棟マップ 表示時同 姓同名患者 の存在表示	システムは	病棟マップ 閲覧時	同姓同名患者 の存在を	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.2.8.1.3.	外来診察 待ちリスト 表示時同 姓同名患者 の存在表示	システムは	外来診察待 ちリスト閲覧 時	同姓同名患者 の存在を	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.2.8.2.	1患者指定 時同姓同 名患者の 存在表示	システムは	1患者に対し 同姓同名患者 が存在する とき	同姓同名患者 の存在を	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.2.9.	1患者指定 時別IDの 存在表示	システムは	同一患者に 対して複数 のIDが登録 されたとき	指定された患者 が別IDを保有 している場合	患者の取り違い を防ぐために	画面に 情報を誤って把 握することを防 ぐために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.3.	編集用 ツール表示	システムは		指定されたリストを		画面に	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.3.1.	シエーマリス ト表示	システムは	《拡張点》<F6000000>患者 情報編集 《拡張条件》シエーマを 使用する場合	シエーマを	診察内容を容易 に編集するため	画面に 情報の編集を容易 にするために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.3.2.	テンプレート トリスト表示	システムは	《拡張点》<F6000000>患者 情報編集 《拡張条件》テンプレートを 使用する場合	テンプレートを	診察内容を容易 に編集するため	画面に 情報の編集を容易 にするために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.3.3.	定型文リス ト表示	システムは	《拡張点》<F6000000>患者 情報編集 《拡張条件》定型文を使 用する場合	定型文を	診察内容を容易 に編集するため	画面に 情報の編集を容易 にするために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.3.4.	フォーマット トリスト表示	システムは	《拡張点》<F6000000>患者 情報編集 《拡張条件》フォーマット を使用する場合	フォーマットを	診察内容を容易 に編集するため	画面に 情報の編集を容易 にするために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報
a. 1.3.5.	病名リスト 表示	システムは	《拡張点》<F6000000>患者 情報編集 《拡張条件》病名登録時	病名を	診察内容を容易 に編集するため	画面に 情報の編集を容易 にするために	出力する	システム内に 蓄積されたす べての情報

表3-3 指定受付機能

機能コード	機能名	動作主体	ユーザアクション	情報の条件	システムの状態	機能間関係	使用場所	システム	対象人物・シナリオ	目的	方式(物理媒体)	動員	コメント
b. 1.1.1.1.1	情報指定受付	システムは	ユーザが表示する情報を指定したとき						情報を			指定受付する	
b. 1.1.1.1.2	表示情報指定受付	システムは	ユーザが表示する情報を指定したとき						指定された情報を			指定受付する	
b. 1.1.1.1.3	記録指定受付	システムは	ユーザが記録を指定したとき						指定された記録を	診療上の記録を記述するため		指定受付する	
b. 1.1.1.1.4	1患者1記録指定受付	システムは				《必要》<F200002>患者指定受付			指定された記録を			指定受付する	
b. 1.1.1.2	1患者複数記録指定受付	システムは		指定された患者に複数記録が存在する場合		《必要》<F200002>1患者指定受付			指定された記録を			指定受付する	
b. 1.1.1.3	複数患者複数記録指定受付	システムは				《必要》<F200062>複数患者指定受付			指定された記録を			指定受付する	
b. 1.1.2	患者指定受付	システムは	ユーザが患者を指定したとき						指定された患者識別情報を			指定受付する	
b. 1.1.2.1	1患者指定受付	システムは	1患者指定したとき						指定された患者識別情報を			指定受付する	
b. 1.1.2.2	複数患者指定受付	システムは	複数患者指定したとき						指定された患者識別情報を			指定受付する	
b. 1.1.3	表示情報の条件指定受付	システムは	ユーザが表示する情報の条件を指定したとき						指定された表示条件を	情報を把握しやすくするために		指定受付する	
b. 1.1.3.1	アフォルト表示情報の条件指定受付	システムは	ユーザがアフォルトの表示条件を指定したとき						指定された表示条件を	情報を把握しやすくするために		指定受付する	
b. 1.1.3.2	表示記録、項目の条件指定受付	システムは	ユーザが表示する記録、項目の条件を指定したとき						指定された表示条件を	情報を把握しやすくするために		指定受付する	
b. 1.1.3.3	1画面表示情報の条件指定受付	システムは	ユーザが1画面に表示する記録数を指定したとき						1画面に表示する記録件数を	情報を把握しやすくするために		指定受付する	
b. 1.1.3.4	表示情報の複数条件指定受付	システムは	ユーザが複数の表示条件の組み合わせを指定したとき						表示する記録、項目の条件の組み合わせを	情報を把握しやすくするために		指定受付する	
b. 1.1.4	治療計画情報指定受付	システムは							治療計画情報を	診療を支援するために、医療の質の向上のために		指定受付する	
b. 1.1.4.1	治療計画パス指定受付	システムは							1患者に適用する治療計画情報(パス)を	診療を支援するために、医療の質の向上のために		指定受付する	ユーザが患者にパスを指定

表3-3 指定受付機能

b. 1	情報指定受付	F 200050	システムは						情報を					指定受付する
b. 1.1.4.2	診療の治癒計画ハス指定受付	F 200049	システムは						1患者に適用する複数の治療計画ハスを					指定受付する
b. 1.1.5.	リストから情報指定受付	F 200066	システムは											
b. 1.1.6.	直接入力情報指定受付	F 200067	システムは											
b. 1.2.	表示順序指定受付	F 200053	システムは						指定された表示順序を					指定受付する
b. 1.2.1.	ソートキー指定受付	F 200003	システムは						指定された情報を	並べ替えのキーに				指定受付する
b. 1.2.1.1.	記録リスト閲覧時ソートキー指定受付	F 200004	システムは						診療科、情報種別、診療日、入力者等を	並べ替えのキーに				指定受付する
b. 1.2.1.2.	テンプレート入力項目の時系列表示指定受付	F 200005	システムは						テンプレートで編集した項目の時情報を	並べ替えのキーに				指定受付する
b. 1.2.1.3.	病名表示優先度指定受付	F 200006	システムは						病名の表示優先度を	並べ替えのキーに				指定受付する
b. 1.2.2.	ソート順序指定受付	F 200007	システムは						昇順ソートか、降順ソートかを	ソート順に				指定受付する
b. 1.2.3.	複数ソートキー指定受付	F 200008	システムは						並べ替えのキーの優先順位を					指定受付する
b. 1.2.4.	ユーザによる表示優先度指定受付	F 200010	システムは						指定された情報の順序を	指定された情報の順序を				指定受付する
b. 1.2.4.1.	診療待ちリスト順序変更受付	F 200054	システムは						指定された診療待ち患者リストの順序を					指定受付する
b. 1.3.	情報検索対象指定受付	F 200055	システムは						情報を	情報を検索する対象情報に				指定受付する

表3-3 指定受付機能

b.1	情報指定 受付	F200050	システム △は							情報名							指定受付す る

表3-4 収集機能

階層コード	機能レベル	管理コード	動作主体	ユーザアクション	情報の条件	システムの状態	機能間関係	使用場所	対象人物・システム	操作対象1	操作対象2	診療上の目的	目的	方式(物理媒体)	動作	コメント
c. 1.	情報収集	F 300020	システムは						情報				情報を把握しやすくなるために		収集する	
c. 1.1.	患者情報収集	F 300008	システムは						患者情報を				情報を把握しやすくなるために		収集する	
c. 1.1.1.	診察カード内の患者情報収集	F 300009	システムは						診察カードに保存されている患者情報を				情報を把握しやすくなるために	診察カードにアクセスして	収集する	
c. 1.1.2.	データベースから患者情報収集	F 300010	システムは	ユーザが1患者を指定するとき					患者情報を				情報を把握しやすくなるために	データベースにアクセスして	収集する	
c. 1.1.2.1.	診療開始前操作権限情報収集	F 300012	システムは		診療開始前に				その日の予約あり患者の記録を				システムの障害対策のため	データベースにアクセスして	収集する	
c. 1.1.3.	他システムから患者情報収集	F 300011	システムは	ユーザが1患者を指定するとき					外部システムから				情報を把握しやすくなるために		収集する	
c. 1.1.4.	外部メディアから患者情報収集	F 300028	システムは						患者情報を					外部メディアにアクセスして	収集する	
c. 1.1.4.1.	バックアップメディアからの情報収集	F 300014	システムは			システム内の情報が破壊されたとき			バックアップに蓄積された情報を				システムの障害対策のため & 保存性を担保するため	記録媒体にアクセスして	収集する	復元
c. 1.1.5.	ユーザ識別情報収集	F 300022	システムは						ユーザ識別情報を				システムの利用を防ぐため		収集する	
c. 1.1.5.1.	ユーザ生体情報収集	F 300023	システムは						ユーザの生体情報を				システムの利用を防ぐため	生体情報認証装置により	収集する	ログイン時のユーザ認証等
c. 1.1.5.1.1.	ユーザ指紋認証用情報収集	F 300024	システムは						ユーザの指紋認証用情報を				システムの利用を防ぐため	指紋認証装置により	収集する	ログイン時のユーザ認証等
c. 1.1.5.1.2.	ユーザ顔認証用情報収集	F 300025	システムは						ユーザの顔認証用情報を				システムの利用を防ぐため	顔認証装置により	収集する	ログイン時のユーザ認証等
c. 1.1.5.2.	ICカード内ユーザ識別情報収集	F 300026	システムは						ユーザのICカード情報を				システムの利用を防ぐため	ICカードリーダーにより	収集する	ログイン時のユーザ認証等で職員ICカードからIDを取
c. 1.1.5.3.	ID & パスワード収集	F 300027	システムは						ユーザのID & パスワードを				システムの利用を防ぐため		収集する	ログイン時のユーザ認証等
c. 1.2.	他医療機関作成情報収集	F 300001	システムは						他医療機関が作成した情報を				情報を把握しやすくなるために		収集する	紹介状、検査情報等
c. 1.2.1.	他医療機関作成の紹介状情報収集	F 300004	システムは						他医療機関作成の紹介状情報を				情報を把握しやすくなるために		収集する	

表3-4 収集機能

c. 1	情報収集	F 300020							情報を 他医療機関作 成の画像検査 情報を						収集する	
c. 1.2.2	他医療機 関作成の 電子画像 情報収集	F 300005	システムは												収集する	
c. 1.3.	紙媒体の電 子情報収集	F 300006	システムは						紙に記載され た情報を						収集する	問診票、紹介 状、検査情報 等
c. 1.3.1.	紙の問診 票情報の電 子化	F 300007	システムは						紙の問診票に 書かれた情報 を						収集する	
c. 1.3.2.	他医療機 関作成の 紙の紹介 状情報の電 子化	F 300002	システムは						他医療機関か らの紙媒体の 紹介状の情報 を						収集する	スキャナ装置
c. 1.3.3.	他医療機 関の紙の 画像検査 情報の電 子化	F 300003	システムは						他医療機関か らの紙媒体の 画像検査情報 を						収集する	スキャナ装置
c. 1.4.	操作権限 情報収集	F 300021	システムは						情報の操作権 限を						収集する	
c. 1.4.1.	診療開始 前操作権 限情報収 集	F 300013	システムは					診療開始前 に	各診療端 末に						収集する	
c. 1.5.	条件合致 情報収集	F 300029							条件に該当す る情報を						収集する	
c. 1.5.1.	表示条件 合致情報 収集	F 300015	システムは						ユーザが情 報を指示し たとき						収集する	
c. 1.5.2.	検索条件 合致情報 収集	F 300016	システムは						ユーザが情 報を検索す る対象と検 索したい情 報を指定し たとき						収集する	
c. 1.5.3.	類似概念 収集	F 300017	システムは						ユーザが情 報を検索す る対象と検 索キーを指 定したとき						収集する	センサー
c. 1.6.	治療計画 ハスのハリ アンス収集	F 300018	システムは						治療計画ハ スのハリア ンス情報を						収集する	
c. 1.6.1	治療計画 ハスのハリ アンスコー ド収集	F 300019	システムは						治療計画ハ スのハリア ンスのコー ド情報を						収集する	

表3-5 算出機能

機能コード	機能レベル	管理コード	執作者 権	ユーザ アイコン	情報の条件	システムの状 態	機能問題 関係	使用 場所	対象人物・ システム	操作対象1	操作対象2	診療上の目的	目的	方式 (物理 媒体)	動詞	コメント
d. 1	統計算出	F 400027								統計情報を クリニカルイン デックスを			経営を支援する ために		算出する	
d. 1.1.	クリニカル インデック ス算出	F 400026													算出する	
d. 1.2.	バスのバリ アンスの統 計算出	400001	システムは							バリアンスの 統計情報を			医師の質の向 上のために		算出する	

表3-6 チェック機能

階層コード	機能コード	管理コード	動作主	ユーザアクシオン	情報の条件	システムの状態	システムの状態	使用場所	対象人物・システム	操作対象1	操作対象2	診察上の目的	目的	方式(物理媒体)	動詞	コメント
e. 1	情報チェック	F 400028								情報を					チェックする	
e. 1.1.	操作権限チェック	F 400009	システムは						《必要》<F40002>本人チェック	操作中ユーザの識別情報と	操作可能なユーザの識別情報を		システムの不正利用を防ぐため		チェックする	
e. 1.1.1.	セッション情報閲覧権限	F 400008	システムは	ユーザが悪患者情報に関するときに	患者情報にセッション情報が存在するとき				《拡張関係》<F100003>患者情報表示《拡張条件》セッション情報のとき	操作中ユーザの識別情報と	操作可能なユーザの識別情報を		システムの不正利用を防ぐため		チェックする	
e. 1.1.2.	ログイン権限チェック	F 400002	システムは	ユーザがシステムをログインするとき					《拡張関係》<F600109>ログイン時	操作中ユーザの識別情報と	操作可能なユーザの識別情報を		システムの不正利用を防ぐため		チェックする	
e. 1.1.3.	診療録確定権限チェック	F 400006	システムは	ユーザが診療録を確定するとき					《拡張》<F60003>診療録状態修正《拡張条件》診療録確定保存時	操作中ユーザの識別情報と	操作可能なユーザの識別情報を		システムの不正利用を防ぐため		チェックする	
e. 1.1.4.	編纂権限チェック	F 400010	システムは	ユーザが診療録を編纂するとき					《拡張》<F600008>診療録編纂開始時	操作中ユーザの識別情報と	操作可能なユーザの識別情報を		システムの不正利用を防ぐため		チェックする	
e. 1.2.	本人チェック	F 400024	システムは							外部入力されたユーザの識別情報と	システム内保持ユーザの識別情報と				チェックする	
e. 1.3.	条件チェック	F 400030		ユーザが条件を指定したとき						治療計画の適用条件を	患者情報と	診察上のミスを軽減するために			チェックする	検索、表示項目指定、順序指定等で使用
e. 1.3.1.	治療計画適用条件チェック	F 400013	システムは	ユーザが悪患者に適用する治療計画情報を指定するとき						指定された条件を	患者情報と				チェックする	
e. 1.3.2.	検索条件チェック	F 400035	システムは	ユーザが検索条件を指定したとき						指定された条件を	検索対象となる情報と				チェックする	
e. 1.3.3.	表示情報の条件チェック	F 400036	システムは	ユーザが表示条件を指定したとき						指定された条件を	情報と				チェックする	
e. 1.3.4.	情報の順序チェック	F 400037	システムは	ユーザが情報の順序を指定したとき						指定された条件を	情報と				チェックする	
e. 1.4.	情報の存在チェック	F 400039	システムは							情報の存在を					検知する	
e. 1.4.1.	確認情報の存在チェック	F 400040	システムは							確認すべき情報の存在を			確実な情報伝達を確保するために		チェックする	
e. 1.4.2.	変更された検索結果情報の存在チェック	F 400038	システムは	検索結果が変更されたとき						変更された検索結果の存在を					チェックする	
e. 1.5.	予約情報チェック	F 400031								予約情報を					チェックする	